

「コンテナ苗」で 海岸防災林を再生！

林業研究所

東日本大震災から約7年が経過した現在、津波によって被災した**本県のクロマツ海岸防災林、約134ha**の復旧が進められています。

この復旧事業では、大量のクロマツ苗が短期間に必要であったことから、**生産効率が良く、育苗期間が短いコンテナ苗が活用**されています。コンテナ苗の導入に向けて、三沢市とおいらせ町の海岸防災林で林業研究所が取り組んだ研究成果を紹介します。

コンテナ苗と従来苗



各種苗の特徴

コンテナ苗のメリット (従来苗と比べて)

- ◆ 生産効率：向上
- ◆ 植付効率：向上
- ◆ 生存率：問題なし

高価格が課題か

コンテナ苗の生存率は99.7%で植付時期を選ばない。

	コンテナ苗	従来苗	
		普通苗	ハードポット苗
生産密度 (本/㎡)	高 177~296本	低 25~36本	植付直前にハードポットに移植した普通苗
育苗期間 (月)	短 13~20か月	長 24~30か月	
植付 (本/人・日)	容易 449本	普通 200本	困難 107本
価格 (円/本)	高い 約200円	安い 約76円	高い 約200円
植付後の生存率 (%) (平均値 ± 標準偏差) 植付：2015年 6-10月 生存確認：2015年 12月	99.7% (18区画平均、±0.8) b	90.8% (66区画平均、±12.2) a	97.6% (16区画平均、±4.4) b

異符号 (a,b) 間では有意差あり (GLMM, P<0.05)

コンテナ苗の成長

三沢市淋代地区
6月植付区



- ◆ 6月と8月に植えた苗が、大きく成長。

植付時期が初夏~夏植えでも良好に成長する。
(本来の植付適期は春)

植付月 2015年	苗高 (cm) (平均値 ± 標準偏差)			地際直径 (mm) (平均値 ± 標準偏差)		
	植栽直後	2015/12	2017/4	植栽直後	2015/12	2017/4
6月 (595本)	24.6 (±3.6) a	26.0 (±4.1) a	35.7 (±9.5) b	5.3 (±1.2) a	7.0 (±1.3)	10.5 (±2.6) b
8月 (598本)	26.9 (±4.4) b	29.1 (±5.0) b	35.9 (±7.9) b	5.8 (±1.3) b	7.8 (±1.4)	10.3 (±2.1) b
10月 (596本)	27.6 (±4.8) b	27.1 (±4.8) a	33.6 (±6.9) a	6.4 (±1.2) c	7.4 (±1.4)	8.7 (±1.6) a

異符号 (a,b,c) 間では有意差あり (GLMM, P<0.05)

研究成果について

- ◆ 現在行われている海岸防災林の復旧には、本研究の成果が取り入れられ、コンテナ苗による防災林整備が進められています。
- ◆ 研究の詳細について、マニュアルを作成しました。
林業研究所のホームページからダウンロードできますので、ご利用ください。

お問い合わせ

林業研究所 森林環境部 (Tel 017-755-3257)